



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社駐車場総合研究所

コード番号 3251 URL <http://www.pmo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 柳瀬 聡

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営管理本部長

(氏名) 加藤 隆行

TEL 03-3406-2477

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,349	9.2	32	24.9	28	23.2	12	17.2
25年3月期第1四半期	1,235	15.0	25	159.8	23	192.6	11	950.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 17百万円 (29.4%) 25年3月期第1四半期 13百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.74	1.69
25年3月期第1四半期	1.52	1.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,874	821	42.7
25年3月期	1,971	829	41.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 799百万円 25年3月期 807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	3.90	3.90
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,320	△9.3	84	△18.9	80	△19.5	48	△5.2	6.45
通期	5,800	10.9	210	4.6	200	5.3	100	3.5	13.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	8,230,100 株	25年3月期	8,189,100 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	749,140 株	25年3月期	749,140 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	7,469,224 株	25年3月期1Q	7,293,857 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下での大胆な金融政策等により円安・株高基調で推移し、企業収益や消費動向に改善が見られる等、次第に景気回復への期待が高まりつつあるものの、欧州の金融不安をはじめとする海外経済への不安感から、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する駐車場業界は、国内におきましては、リーマンショック及び震災の影響で低迷しておりました新車販売台数、駐車場稼働率がともに堅調に上昇してきており、業界全体としては回復の兆しを見せております。

中国における駐車場業界におきましては、中国国内における経済失速の懸念があるものの新車販売台数や保有台数は増加の一途をたどり、駐車場供給台数の慢性的不足が継続しております。そのため、不動産オーナーの駐車場への関心が次第に向上し、駐車場の有効活用やサービスの改善等を目的としたコンサルティング需要が高まっております。

このような環境の中、当社グループの経営方針と致しましては、成長の加速化を図るため、国内においては、引き続き「既存駐車場の更なる品質向上」、国内市場の深耕を目的とした「未出店マーケットへの積極的進出」、同業他社との差別化をより一層強化するための「研究開発力の強化」、中国においては、中国全土を対象とした事業スキームの構築に注力するため、国内及び中国における営業人員や駐車場管理人員、更には管理人員の拡充を行って参りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,349,441千円（前年同四半期比9.2%増）、営業利益は32,045千円（前年同四半期比24.9%増）、経常利益は28,470千円（前年同四半期比23.2%増）、四半期純利益は12,960千円（前年同四半期比17.2%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループは駐車場事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

これに代わる事業部門別の業績の概況は以下のとおりです。

〔駐車場管理運営事業〕

日本国内におきましては、当社における事業規模が拡大する中、従来の品質維持や更なる品質の向上を目的とし、新たな管理人員の拡充を行うと共に、駐車場オーナーや利用者のニーズに応えるべく様々な施策を取り入れてまいりました。

一方、新規駐車場の開発については、営業人員の拡充や組織体制を変更することで社内営業体制を強化し、従来の関東及び関西の大都市圏を中心とした新規顧客先、既存オーナーへの積極提案や営業活動の強化に加え、政令指定都市を中心とした未出店マーケットに積極的に進出し、札幌、名古屋、福岡（※1）に新たに新出店するに至りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、17現場1,059車室の新規現場の獲得となりました。

中国国内における駐車場管理運営業務については、現状、上海市及び天津市において2現場1,042車室が稼働しており、駐車場管理運営の安定稼働、営業展開に向けた様々な取り組みを行い、今後の中国市場における駐車場管理運営業務の基本体制の確立を目的とした活動に注力しております。

当第1四半期連結累計期間において、設計段階より派盟静態交通技術開発(天津)有限公司がコンサルティングで携わった「天津金之谷大厦地下駐車場」(435車室)(※2)を獲得しております。

以上の結果、駐車場管理運営事業全体として、前連結会計年度において獲得した駐車場現場の本格稼働、当第1四半期連結累計期間に受注した稼働車室の増加により、売上高は1,343,582千円(前年同四半期比9.3%増)となりました。

(※1) 2013年7月オープン

(※2) 2013年8月オープン予定

[コンサルティング事業]

日本国内におけるコンサルティングにおきましては、競争が激化する中、他社との差別化を実施し、新規現場獲得のためのプロポーザル活動を中心に業務を展開してまいりました。

中国国内におけるコンサルティングにおきましては、近年の経済発展に伴う自動車利用の著しい増加から駐車場に関する意識が向上し、駐車場の有効活用やサービスの改善等、駐車場コンサルティング需要が高まっており、当第1四半期連結累計期間において遼寧省東戴河新区等の大型駐車場のコンサルティングを受注いたしました。

この結果、平成25年6月30日現在の受注残高は11,595,500人民元(日本円換算約186百万円)となりました。

しかしながら、中国における大型駐車場のコンサルティングは検収まで2年以上を要する長期的な案件が多いため、当第1四半期連結累計期間においてコンサルティング売上の計上には至っておりません。

以上の結果、コンサルティング事業全体として、売上高は5,859千円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,874,673千円(前連結会計年度末比96,436千円の減少)となりました。主な要因は現金及び預金の減少196,957千円、投資有価証券の増加100,000千円等によるものであります。

負債の残高は1,052,862千円(前連結会計年度末比88,855千円の減少)となりました。主な要因は未払法人税等の減少57,663千円、未払金の減少38,444千円等によるものであります。

純資産は821,810千円(前連結会計年度末比7,580千円の減少)となりました。これは主として四半期純利益の計上12,960千円による増加、配当金29,015千円の支払による減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、平成25年5月13日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	690,005	493,048
売掛金	110,742	114,818
仕掛品	15,538	23,741
前払費用	148,854	155,715
その他	38,050	29,213
流動資産合計	1,003,190	816,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	262,355	258,941
機械及び装置(純額)	164,513	163,802
リース資産(純額)	54,237	45,303
その他(純額)	167,091	167,519
有形固定資産合計	648,197	635,567
無形固定資産	25,070	25,654
投資その他の資産		
投資有価証券	—	100,000
敷金及び保証金	204,811	206,340
保険積立金	72,982	72,982
その他	16,857	17,591
投資その他の資産合計	294,650	396,914
固定資産合計	967,918	1,058,136
資産合計	1,971,109	1,874,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	63,232	63,232
リース債務	36,713	34,348
未払金	169,354	130,909
未払法人税等	64,655	6,991
前受金	159,729	173,410
預り金	281,620	300,144
その他	54,358	53,385
流動負債合計	829,664	762,421
固定負債		
長期借入金	243,076	227,268
リース債務	25,727	18,237
退職給付引当金	30,634	32,680
資産除去債務	11,300	11,325
その他	1,314	928
固定負債合計	312,052	290,440
負債合計	1,141,717	1,052,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	168,766	171,150
資本剰余金	148,186	150,570
利益剰余金	553,995	537,940
自己株式	△66,040	△66,040
株主資本合計	804,908	793,620
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,056	6,272
その他の包括利益累計額合計	3,056	6,272
新株予約権	9,894	8,817
少数株主持分	11,532	13,100
純資産合計	829,391	821,810
負債純資産合計	1,971,109	1,874,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,235,534	1,349,441
売上原価	1,049,417	1,134,029
売上総利益	186,117	215,412
販売費及び一般管理費	160,459	183,366
営業利益	25,657	32,045
営業外収益		
受取利息	44	34
受取手数料	3	1
その他	78	148
営業外収益合計	126	184
営業外費用		
支払利息	2,099	1,705
為替差損	576	1,729
その他	—	325
営業外費用合計	2,675	3,760
経常利益	23,108	28,470
特別利益		
投資有価証券売却益	1,000	—
特別利益合計	1,000	—
特別損失		
固定資産除却損	215	—
特別損失合計	215	—
税金等調整前四半期純利益	23,892	28,470
法人税、住民税及び事業税	3,397	4,041
法人税等調整額	9,852	10,935
法人税等合計	13,250	14,977
少数株主損益調整前四半期純利益	10,642	13,492
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△415	532
四半期純利益	11,057	12,960

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,642	13,492
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,069	4,252
その他の包括利益合計	3,069	4,252
四半期包括利益	13,712	17,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,391	△3,056
少数株主に係る四半期包括利益	320	1,215

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年7月26日開催の取締役会において、下記のとおり、中国に連結子会社を設立することを決議いたしました。

1. 設立の目的

当社の連結子会社である派蒙蜂巢停車場管理（北京）有限公司、派盟静態交通技術開発（天津）有限公司、派蒙蜂巢停車場管理（天津）有限公司については、天津市、北京市を中心に、駐車場コンサルティングおよび駐車場管理運営サービスを展開しております。

今後、益々多様化する様々な駐車場サービスニーズにより一層充実した体制でお応えすると共に、中国全土に亘る事業展開を行うことを目的に、中国の中心商業都市である上海市に新たに現地法人を設立するものであります。

2. 子会社の概要

(1)商号	未定
(2)所在地	上海市徐匯区石龍路345弄27号徳必・易園A座401室
(3)代表者	鄒 仁英（当社取締役）※現連結子会社3社董事長
(4)事業内容	駐車場及び都市交通に関するコンサルティング、シンクタンク、企画・建設、駐車場管理運営
(5)資本金	5,000万円（予定）
(6)決算期	12月31日
(7)出資比率	当社100%
(8)設立年月日	平成25年10月（予定）